

【9L4L103】美術入門		教養科目		1年前期	2026年度		
		2単位	選択	講義	30時間		
教員	加藤 誉使子						
資格・制限等	歯科衛生学科 選択必修						
実務家教員	高等学校美術科教諭28年						
授業方法	Power Pointによる画像資料やプリントを用いた講義形式を基本として、適宜、個人およびグループ活動でのワークショップなどのアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行います。ICTを活用したコメント提出とフィードバックを毎時行います。						
到達目標	知識・理解	通史とテーマによる縦横断的な捉え方で西洋美術史および日本美術史を学び、歴史的な意味や表現の特徴、作家別の特徴を知り、美術作品の意義や良さを理解することができる。					
	思考・判断・表現	客観的造形性に基づいた鑑賞法を用いて、美術作品を捉え判断することができ、それを踏まえて自身の観点や意見を思考し表現することができる。					
	技能	美術史および鑑賞法を学ぶことを通して美術作品を読み解く力を身に付け、コミュニケーション手段とすることができる。					
	関心・意欲・態度	美術史および美術作品、ワークなどに対し興味を持って取り組むとともに、積極的に美術に触れようとし、それらを表現することができる。					
	備考	・○・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	西洋美術および日本美術について、各回ごとのテーマを切り口として美術作品理解と歴史的理解をし、美術作品鑑賞法を学び実践できるようにするとともに、現代社会に生きる私たちとの結びつきを考え、アートを楽しみ豊かに生きる教養を身に付けます。						
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		20	20	10	5	55
	課題提出		10	10	10	-	30
	受講態度		-	-	-	15	15
	合計(点)		30	30	20	20	100
評価の特記事項	課題提出とは、各授業内で取り組むワークシート（授業終了時提出）と、毎授業終了時（または指定する期日まで）に入力送信提出するリフレクションシートのことです。欠席した授業の課題提出得点は0点になります。5回以上欠席した場合、筆記試験の受験資格はありません。						
ICT活用	毎授業後のリフレクションシートの提出を、google formを活用して行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	ワークショップ（個人、グループ）を行います。						
課題に対するフィードバック	ワークシートやgoogle formにより提出された意見や質問を次の授業時に適宜共有すると共に、回答と解説を行います。						
テキスト							
参考書・教材	毎授業時に、オリジナルプリントを配布します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス・イントロダクション（授業の目標や学ぶ内容の概要を理解し、作品の鑑賞方法について学ぶ。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（授業概要、作品の鑑賞方法）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）、鑑賞活動は、随時授業および定期試験で活用する。（以降同様）						
2	ざっくり西洋美術史（西洋美術の通史を概観し、理解する。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（西洋美術通史）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）						
3	ギリシア神話をテーマ・モチーフにした西洋美術（西洋美術の主要テーマであるギリシア神話を切り口として縦横断的に学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（西洋美術・ギリシア神話美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）						
4	キリスト教をテーマ・モチーフにした西洋美術（西洋美術の主要テーマであるキリスト教を切り口として縦横断的に学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（西洋美術・キリスト教美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）						
5	肖像・人物をテーマ・モチーフにした西洋美術（西洋美術における人物をモチーフとした作品を切り口として縦横断的に学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（西洋美術・人物の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）						
6	風景・風俗をテーマ・モチーフにした西洋美術（西洋美術における風景・風俗をモチーフとした作品を切り口として縦横断的に学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（西洋美術・風景風俗の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）						
7	静物をテーマ・モチーフにした西洋美術（西洋美術における静物をモチーフとした作品を切り口として縦横断的に学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（西洋美術・静物の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）						
8	ざっくり日本美術史（日本美術の通史を概観し、理解する。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（日本美術通史）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）						
9	ほとけ様の世界・日本美術（日本美術の主要テーマである仏教を切り口として縦横断的に学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（日本美術・仏教の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）						

内容	
実施回	授業内容・目標
10	絵巻物と浮世絵の世界・日本美術（日本美術特有の表現形式である絵巻物と浮世絵について学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（日本美術・絵巻物浮世絵）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）
11	生活美術の世界～原始から現代～・日本美術（生活に密接した造形や意匠について学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（日本美術・生活美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）
12	上手いアート・西洋美術日本美術（傑出した「上手さ」を切り口として、古今東西のアート作品を検証し、美に対する思考を深める。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（「上手い」美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）
13	かわいいアート・西洋美術日本美術（傑出した「かわいさ」を切り口として、古今東西のアート作品を検証し、美に対する思考を深める。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（「かわいい」美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）
14	価値観を変革するアート・西洋美術日本美術（「価値観を変革する」を切り口として、古今東西のアート作品を検証し、美に対する思考を深める。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（「価値観を変革する」美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）
15	現代美術とこれからのアート～ダイバーシティ社会の中で～美術（美術史を踏まえた現代美術の理解と、アートの価値と社会の在り方について思考を深める。）、ワークショップ [課題(復習)(他)]google formによる授業（現代美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞（4h）
時間外での学修	美術館やギャラリーで美術作品を実見したり、メディアを活用した美術鑑賞の機会を持ち、授業で学んだ内容について実践的発展的な学修を行ってください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	アートは感性で観るものと捉えられがちですが、決してそれだけではなく、鑑賞法や知識を学び活用することで、自ら作品を読み解く力がつき、鑑賞体験を深めることができます。アートを楽しみながら学ぶ中で、ダイバーシティ社会に生きる人としての教養を身に付け、豊かさとは何かを考える一助となることを期待します。 オフィスアワー【水曜日12:10～12:25（講義室または非常勤講師控室）】